

# エフモル<sup>®</sup>WA

FRCC（繊維補強セメント系材料）  
『吹付工法用』『左官工法用』

農林水産省「農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル」【開水路補修編】（案）：品質規格適合品  
NETIS（国土交通省新技術情報提供システム）登録番号『HK-110049-VE』

## 特長

1. プライマー不要で湿潤面での施工可能（下地の状態によっては、プライマー必要の場合あり）
2. 優れた耐久性（耐塩害性、耐凍害性、化学抵抗性）
3. 優れたひび割れ抵抗性

## 用途

- ◆土木構造物（橋梁、ダム、ボックスカルバート、トンネル覆道部、擁壁、用排水路など）
- ◆建築構造物（コンクリート補修など）
- ◆港湾構造物（護岸、防波堤など）

## 配合

	粉体	水
1袋配合	25kg（1袋）	4.4～5.0L
1m <sup>3</sup> 配合	1700kg（68袋）	319.6L
可使用時間	約60分	

## 荷姿

25kg/袋（紙袋詰）

物性値（使用水量：4.7L/1袋（25kg）、養生：20℃、材齢：28日）

性能項目	試験項目	試験方法	品質規格値（案）	試験値	
基本的性能	中性化促進試験	JIS A 1153（4週間）	5mm以下	0	
	付着強度	JSCE-K561 （乾湿・温冷繰返し回数 は10サイクル）	標準条件	1.5N/mm <sup>2</sup> 以上	2.40
			多湿条件		2.83
			低温条件		2.92
			水中条件	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上	2.95
			乾湿繰返し条件		3.17
			温冷繰返し条件		2.31
	摩耗深さ	表面被覆材の水砂噴流摩耗試験（案） （材齢28日、10時間経過後）	標準供試体に対する平均摩耗 深さの比 PCM：1.5以下	1.3	
圧縮強度	JSCE-K561（28日間養生）	21.0N/mm <sup>2</sup> 以上	51.3		
長さ変化率	JIS A1129	0.05%以下	-0.031		
個別的 性能	相対動弾性係数	JIS A1148（A法300サイクル）	85%以上	99	

※1 試験値は、規格値ではありません。  
※2 付着試験の被覆厚さ：表面被覆10mm

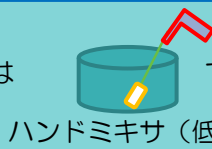
## 下地処理

- 清掃、脆弱部の除去、鉄筋防錆処理、ひび割れ処理、漏水処理など
- 脆弱部除去後、施工面を湿潤状態にしてください。湿潤状態にすることが難しい場合等は吸水防止の処置を行ってください。

## 練混ぜ



または



で **3分以上** 練り混ぜる

推奨ハブミキ



推奨攪拌羽（箱型）



- 使用水量は、※1 **25kg袋**は1袋当り **4.4~5.0L** の範囲内です。
- 練混ぜ水は、水道水またはこれに準ずる水を使用してください。
- 袋単位で練混ぜてください。小分けして使用しないでください。
- 材料温度、現場温度などによって使用水量は範囲内で変化します。
- 必ず使用前に試し練りを行い、適切な水量を決定してください。
- プレミックス製品ですので、他のセメント、砂、混和剤などを加えないでください。

## 吹付・左官

- 標準施工厚： 天井面：10~20mm程度 側壁面：10~40mm程度
- 吹付の場合、必ずセメントペーストをホース内に通してから材料を圧送してください。
- 吹付ホースを連結する場合、必ず同じ径のホースで連結してください。
- 吹付時、ノズル先からセメントノロが下方に多く飛ぶ場合、吹付空気圧を調整してください。

## 養生

- 風や直射日光、降雨、外気温の影響を避ける養生管理を行なってください。

## 使用上の注意

- 左官工法で使用する場合は『左官工法用』を、吹付工法で使用する場合は『吹付工法用』をそれぞれ使用してください。工法に応じた適切な製袋を使用しない場合、吹付施工時にモルタルの空気混入量が不足したり、左官施工時に空気混入量が多すぎたりすることで施工不良を招く恐れがあります。
  - ご使用前に、必ずカタログおよび施工要領書をお読みください。
  - 吸湿性を有する粉末品ですので、セメントと同様に水に濡れないようできるだけ屋内で保管してください。屋外で保管する場合は、地面に直接置かず台座などを用いて湿気を避けるように保管してください。
  - 一度開封したものは使い切るようにしてください。開封状態で保管したものを再度使用しないでください。
  - 使用に際しては、保護具（防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋など）を着用してください。
  - エフモルは水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
  - 目や口に入った場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
  - 5℃未満が考えられる場合は、凍害防止のため採暖養生等を行ってください。
  - 皮膚に付着した場合は、清水で十分洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
  - 廃棄する場合は、都道府県の許可を受けた処理業者に処理を委託してください。
- ※本書に記載されたデータは、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものです。実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- ※本書の記載事項は、新しい知見などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

（製造元） **株式会社 エフモル工業**

【本社】〒062-0052  
北海道札幌市豊平区月寒東2条17丁目3-75  
TEL: 011-595-7085 FAX: 011-853-0220

【浦河工場】〒057-0002  
北海道浦河郡浦河町字西幌別512  
TEL: 0146-28-1318 FAX: 0146-28-1832

【東京営業所】〒155-0031  
東京都世田谷区北沢3-2-11 レガー口東北沢3-8  
TEL: 03-3481-9177